



山門



如意輪観音像
(柏市指定文化財)

登慶山如意輪寺「持法院」

柏市藤ヶ谷



本堂

シルバーの“顔”



吉場喜雄さん
(柏市東逆井で)

(詳細は5頁)

- 2頁・センターの専門部会などの紹介
地域班地区長会議
- 3頁・柏おどりコンテスト参加
生涯現役就労セミナー
- 4頁・シルバー学び隊Ⅰ・Ⅱ
新理事研修、じよぶコラム
- 5頁・千葉県SC連合会主催講習会
シルバーの“顔”
- 6頁・みんなの写真館(ゆずりは会)ほか
- 7頁・みんなの写真館
(田中地区、柏西地区ほか)
- 8頁・事務局だより
編集後記

▽もくじ△

☆平成29年度柏市シルバー人材センター安全標語最優秀賞作品☆

安全は 心のゆとりと健康から

柏市シルバー人材センターの 専門部会などの 紹介

7月に行われた理事会で、専門部会と安全委員会などの構成メンバーが決定し、活動がスタートしました。新役員と活動内容などについて、改めて紹介いたします。

● 広報部会

(会報の編集発行、会員研修・拡充、広報活動) 部長：片岡理事、副部長：高橋豊顕理事、岡村理事、小市鈴木、吉野(ゆずり)は担当、事務局(上釜)

● 事業部会

(職群班、自主事業の開発、事業の普及・啓発) 部長：内山理事、副部長：越戸理事、一本理事、今村、大西、事務局(松田)

● 就業開拓部会

(就業開拓、顧客管理、会員の特典・拡充、就業拡大の施策) 部長：高橋行雄理事、副部長：倉林理事、片岡



岡理事、市川、佐藤、事務局(松田)

● 女性部会

(女性会員の組織づくり、自主事業の開発、技能講習、就業拡大の施策) 部長：越戸理事、副部長：岡村理事、鳴海理事、曾我部、富谷、事務局(和田)



● 安全委員会

(安全就業の実施計画の策定、事故防止対策、会員の健康管理) 倉林委員長、日野副委員長、一本理事、事務局(和田・高木)



● 基本計画検証委員会

(中・長期基本計画の管理・見直し) 事務局(川口)

地域班地区長会議開く



地域班会議の活性化をめざす

平成29年度第1回地域班地区長会議が9月14日(木)、各地域班地区長、月川会長や理事など関係者24名が参加して開催されました。月川会長がこの2カ月、合同班会議などに出席し現場の意見を聞き、大変参考になった。本日も活発な意見を伺いたい」とあいさつ。3名の新しい地区長はじめ全員の自己紹介があり、日野副会長の進行で、議題と報告事項の順に審議が行われました。

地域によっては活動内容に差があり、班活動の成果事例もあるが、問題点や改善案として「地域班活動の目的が分からない」「参加のメリットがない」「役員が高齢化で、次の候補者が見つからない」「班長の交代を円滑に行える仕組みを」「改善のためには班長以外の連絡員を作っておくのはどうか」など様々な意見が出ました。地域班は問題点が多地域に共通しており、今後センターとしても改善策の検討を図るとしています。

◆ 地区長紹介

前列右から
光が丘・山田氏
柏西・伊藤氏
富勢・曾我部氏
田中・富澤氏
後列右から
高柳・松浦氏
柏東・沢田氏
土・森氏
大井・大津ヶ丘
高川氏



柏おどりコンテストに初参加



”チームかがやき”で出場

「第40回柏まつり」が7月29～30日開催され、当センターの会員21名（男性10、女性11）が、29日（土）に西口広場で行われた「柏おどりコンテスト」に”チームかがやき”として初参加しました。

賞状とブロンズ像

6月から12月にわたった猛特訓で努力を重ねた成果が実り、当センターは東京新聞社賞を受賞し表彰状とブロンズ像を手に入れました。



参加された方々…遠山とみ、

他の参加者が若者の中、チームかがやきの引けを取らない若々しさに大きな拍手が起き、また女性陣の鮮やかな黄色の浴衣が目を引きました。



練習風景

戸田成子、鈴木美知子、富谷多恵子、井町多喜江、北村純子、越戸玲子、村植文江、有坂房江、瀧野恵子、引地了子、飯塚和夫、戸部紀男、倉林博孝、曾我部武、月川睦、福原重行、増田正美、今村夏雄、小出律雄、小城亨、高木俊（敬称略）

「柏市生涯現役促進協議会」主催就労セミナー開催

9月11日（月）、「生涯現役公共サービス就労セミナー」がアミューゼ柏プラザで開かれ、市民80名が参加しました。市内の公共サービスの就労状況全体像の説明や就労体験、情報提供などが行われました。

当センターからは、隅田ジョブコーディネーターが、当センターで扱った公共サービスの就労状況やセンターの概要について説明、ブースで求人案内を行いました。



紹介された公共サービスの主な就労状況は次の通り。・駐輪場、街頭巡回（80名）・近隣センター管理（120名）・増尾城址公園、手賀の丘公園・中原防災公園（30名）・旧吉田家住宅歴史公園、北柏ふるさと公園（20名）・環境サービス課、文化課、学校財務室など（80名）・民間委託の駐輪場（80名） 合計約410名

また10月3日（火）には「生涯現役女性のための就労セミナー」がパレット柏で女性40名が参加して開かれました。メイクセラピストの宮井和美氏のメイク講座、キャリアコンサルタントの中村養子氏の講演があり、そのほか現在就労中の体験談、各方面からの求人案内なども行われました。藪ジョブコーディネーターが当センターの女性向けの就労状況や求人等を説明しました。



「新理事研修」開く

総会で新しく選任された 5 名の新任理事が参加し、理事研修会が 8 月 2 日(水)、当センター小会議室で開かれました。

月川新会長が講師となり、当センターの定款、理事会規程、理事職務権限規程集や 29 年度定時総会の議案書に沿って研修を行いました。



また柏市からの提言書、シルバー人材センターの「運営の手引き」などを参考に「理事の役割と活動」について学び、会長が新理事からの質問に丁寧に答えました。

また柏市からの提言書、

シルバー人材センターの「運営の手引き」などを参

じょぶコラム⑤

ベストマッチを目指して

昨年までは派遣を中心とした新しい事業者、新しい仕事の開発が主な担当でした。そうした仕事では契約内容について前例のないことばかりで迷うことが多くあります。漠然とした事業者の要望を案件として固め、会員に紹介できるようにするのは結構な手間です。しかし、一度動き始めて事業者に評価されて仕事が継続すれば、会員にとっても新傾向の就労先となり、達成感があります。仕事の紹介から就労が決まるまでをサポートするのが、ハローワークとの大きな違い。引きこもりがちだっ

た一人暮らしの男性会員の方ですが、紹介した仕事に就かれてからは「毎日が充実して楽しくて仕方がないよ」と言ってくださり、そんな時こそがジョブコーディネーターをやっている良かったと思う時です。常に会員と仕事とのベストマッチを目指していますが「こういう経験技能がある会員はいませんか」という求人にタイミング良く対応できることもあれば、タッチの差で他の仕事に就かれているという場合もあります。なるべく手持ちの案件のバリエーションを増やしておきベストタイミングで会員に紹介できるよう、工夫を重ねて行きたいと考えています。(北部担当・隅田)

シルバー学び隊Ⅰ

「シニアの生活設計セミナー」⑤

終の住処の選び方



講師の谷口義則氏

第 5 回目の「シニアの生活設計セミナー」が、8 月 28 日(月)、アミューゼ柏プラザで開かれ、これまでで最多の 147 名が参加しました。タイトルは「終の住処の選び方」。講師は前会長で生涯医療ネットワーク代表の谷口義則氏。サブタイトルに「自宅か老人ホームか! そのメリット・デメリット」とあるように、最期をどこで迎えるかがテーマ。

いこのこと。

また、終の住処の選び方として、①これからどう生きたいか②自分の意志に優先順位をつけ③元気なうちに行動するほか、「場所・資金・看取り・認知症・医療・交流・整理・最期」の考慮すべき点について具体的に述べました。自宅を終の住処にする場合、売却する場合の注意点、老人ホーム等施設入居の基本的なチェックの仕方などについても説明しました。

シルバー学び隊Ⅱ

透明水彩画スケッチを体験しよう!

8 月 17 日(木)、根戸近隣センター会議室で、「手軽な透明水彩スケッチを体験しよう」く右脳を使いバランスよく認知症予防が行われました。会員はじめ近隣

参加下さい。 蘆田講師の作品



蘆田講師の作品

「今後のことで悩んでいたのでよい指針になった」「具体的でわかりやすかった」などの感想が参加者から寄せられました。 初め水彩画にチャレンジする方がほとんどで「構図が上手くいかなかったけど楽しかったです」「これを機会に続けたい」と楽しそうに話していました。現在、蘆田講師

はじめにスライドショーで、透明水彩画の基礎講座(構図の考え方、彩色技法など)を受けた後、実際に果物(リンゴやバナナ)を描き、自分だけの作品を仕上げました。



会場風景



車輻運転(ワンボックス) 技能講習開く



千葉県シルバー人材センター連合会主催の車輻運転(ワンボックス)技能講習が8月14日(月)、高田の柏自動車教習所で行われ、送迎運転の派遣就業会員を含め9名の会員が参加しました。

室内の講習室と室外での教習コースに分かれ、講習室では視力検査・適性検査、認知判断力診断を行いました。

教習コースでは2台のワンボックスカーに分かれて乗車、教師の指導の下、車庫入れなどを実体験。参加者は慣れないワンボックスカー運転に悪戦苦闘していました。

家庭掃除・収納士 技能講習会

千葉県シルバー人材センター連合会主催の家庭掃除・収納士技能講習会が9月12日(火)、当センター会議室で開かれ東葛地域(柏・流山・松戸など)のセンター会員9名が参加しました。講師は日本シエアハウス協会理事の響城(ひびき)氏。この講習は福祉・家事援助サービス事業の強化のため各市のシルバー人材センターでのリーダーを育成するのが目的。



清掃の創意工夫、接遇の仕方など経験に基づいた家事援助方法を伝授。参加者は、この業界では人気のある響城氏の講話に引き込まれ、有意義な一日を過ごしました。終了後、同協会から資格認定証が授与されました。

表紙!!



シルバーの「顔」 吉場喜雄さん

一番のやりがいはお客様に喜んでいただけた時

現在当センター内では植木班が11班あり、就業者は33人。今回はその1人、逆井増尾方面を担当する吉場喜雄さん(77歳)にご登場いただきました。

吉場さんは63歳までイベント企画会社に勤務。退職後、自宅の庭の五葉松の手入れが難しく、教えてくれる人を探して当センターの講習会に参加。それが見つけ次第植木職に就き、すでに十年以上になるベテランです。「この仕事は年齢ではなく体力です。全身を使いますし仕事をすること



病気をしたことがないというので驚きです。毎朝の腕立て伏せ・スクワット・ラジオ体操は欠かさず、自分の体を大事に使うことを実践。お話を伺っていると、好奇心旺盛な前向きな方だといふことがわかります。この日、同じ班の四十宮直行さん、田畑太郎さんと共に、チームワークよく剪定作業中。安全ベルトを着け、脚立に上り、しだれ梅の伐採です。手慣れた様子で素早く忌み枝を切り、風通しを良くし、全体の形を整えていきます。「剪定は先輩の技を吸収し、経験を積んでわかることが多いですね。お客様の要望と木の気持ちに答え出したいだけなのが一番のやりがいです。」

吉場さんは他にも顔が持っています。以前の仕事で毎日楽しんで「たのび」。班長・四ノ宮さんの話「吉場さんは親分肌の面倒見のいい方。気が分よく仕事ができるので毎日楽しんで「たのび」。」

中央が吉場さん 右が四ノ宮さん 左が田畑さん



←篆刻印

→陰影(篆刻印)と書も吉場さんの作品

本報記者 菅野 隆之

みんなの写真館

●新木場で《ゆずりは会》サマーパーティー



「屋形船体験」でもんじゃ焼を満喫



●「柏ゆずりは会」からのお知らせ

「柏ゆずりは会」では、会員相互の交流と親睦を図ることを目的として、ふれあいサマーパーティー、親睦バス旅行、ポウリングなどを開催しています。

中でもバス旅行は大人気でキャンセル待ちが出るほど。この会の良さは、会員同志食事やおしゃべりを通して河山の方とお友達になれることです。どうぞふるってご参加下さい。お待ちしております。(坂内)



柏ゆずりは会(代表・坂内マサ子)のサマーパーティーが8月24日(木)、東京・新木場で行われ、30名が参加しました。新木場駅からバスで新木場橋へ。江戸前汽船の屋形船での、お台場巡りです。猛暑の中にも拘らず参加者一同元気がいっぱい。船内からレインボーブリッジやスカイツリー、豊洲市場等を眺めながら、もんじゃ焼きの食べ放題・飲み放題を堪能しました。船内では沖縄三線流しの伊藤淳さんのライブもあり南国の音楽に酔いしれたり、一緒に島歌を合唱したり楽しいひと時を過ごしました。

「柏ゆずりは会」一親睦バス旅行のお知らせ

11月9日(木)、紅葉の佐久平(ぴんころ地蔵、貞祥寺、藤村旧宅、ワイナリー)を巡ります。

- 会費 6000円。
- 集合は午前6時45分、柏駅西口クレストホテル前。
- バスでの日帰り。 ●定員45名。
- 申込期間10月20日～30日限定。

■ 連絡先：坂内まで ☎ 090 - 6568 - 2836
 ■ メール : masako.ungai@i.softbank.jp

「接遇講習」開く



千葉県シルバー人材センター主催の「接遇講習」が、9月26日(火)開催され、会員12名が参加しました。講師は(株)話し方教育センターの藤原真理弥氏。①満足感を与える接遇では、すぐれた接遇の4つの条件として「正確・迅速・親切丁寧・感じよく」をあげました。その後グループに分かれロールプレイングを行い、これまでの接遇経験を振り返りました。さらに②表現の仕方を考える③心得るべきマナー④接遇能力をさらに高めるにはどうするか等、実践トレーニングを行いながら感じよく話す方法、望ましい態度やマナー、心構えについて学びました。

普及啓発活動

柏東地区(沢田悦三朗地区長)では、9月16日(出) JR南柏駅で、29年度の年間計画の一環として、当センターの普及啓発のチラシ配布を行いました。地域班活動では柏東地区独自の取り組みで、今年で4年目になります。



南柏駅で、センターのチラシを配布



参加者13名はお揃いのオレンジ色のはつぴに身を包み、南柏駅東口4カ所、西口1カ所に分かれチラシ、ティッシュ、花の種を350セット配布、当センターをPRしました。

● 班会にお邪魔します
—— 田中地区合同班会議

《北千葉浄水場見学》



浄水場入り口

田中地区（富澤君雄地区長）は 9 月 11 日（月）、合同班会議を兼ね流山市桐ヶ谷和田にある、北千葉広域水道企業団の北千葉浄水場見学会を行いました。

東京ドーム 5 個分の敷地面積を誇る同浄水場。1 県 7 市へ、安全で良質な水道用水を供給する役割を担っています。参加者 41 名は 2 班に分かれ、それぞれ同事業団の青木さん、川地さんの案内で、残暑の中、水道水がどんな仕組みで供給されるのか興味津々、改めて水について真剣に考えた 1 日となりました。

「取水場から良質な水道水になるまでには、13 時間かかります。7 年前高度浄水施設工事に着手し、3 年前からよりおいしい水が供給されるようになりました。私たちの生活



シルバー田中地区班合同集会

に水ほど大切なものはありません。安全、安心、安価に作り上げることを心がけています」と青木さんは話されてきました。



● グラウンドゴルフ個人戦
—— 柏西地区

柏西地区（伊藤勝久地区長）では 9 月 27 日（水）、高田運動広場においてグラウンドゴルフ個人戦を開催しました。参加者 16 名が、和気あいあいの中で熱戦を繰り広げました。

優勝者は前回に引き続き溝口勝美さん。2 位は宮内恭子さん、3 位は金子徹雄さん。ブービー賞は、粕川秀大さんでした。今回は 5 人がホールインワンを出し、それぞれ商品を手に入れました。伊藤地区長が作った野菜もお土産にいただきました。



柏西地区グランドゴルフ大会
柏市シルバー人材センター

● OECDメンバークラス
当センターを訪問

10 月 4 日（水）、OECD（経済協力開発機構）の雇用労働社会問題局のマーク・キース氏ら 4 名が、厚労省の秋山伸一大臣官房国際課長らと共に当センターを訪問しました。

月川会長、小城常務、松田職員、藪職員が出席し、当センターの取組みなどを紹介した後、通訳を介しキース氏らの質問に答えました。キース氏は「センターの取組みを通して、高齢者の就労状況を知り大変興味深い。OECD 諸国に参考になるものが多かったと述べました。



● 安全だより

—— 安全委員会より

安全なくして就業は成り立たず、改めて安全の 3 要素を見直してみましょ。

第 1 は、整理・整頓です。清掃・清潔と併せ仕事の基本です。第 2 は、点検・整備です。始業時に必ず設備・

機械、手工具、保護具等の点検を行う必要があります。そして第 3 は標準作業です。これは安全に作業を進める基本ルールです。

最後に、初心者の不慣れと熟練者の過信が災害の多くの要因です。今一度、全員が原点に立ち返り、安全を見つめ直したいものです。（29 年度の事故発生件数 11 賠償 5 件 傷害 11 件）

「安全就業のしおり」を発行

このほど当センターでは、会員向けに「安全就業のしおり」を発行しました。このしおりは全ての会員が安全に就業するために、これまでの実例を踏まえ、標準的な注意事項などをまとめたもの。事務局に置いてありますので、ぜひご活用ください。



◆ お詫びと訂正 ◆

104 号 4 頁 2 段目、「山田輝夫さん」は「山田輝雄さん」の間違いでした。お詫びして訂正いたします。

みんなの写真館

【事務局からのお知らせ】

事業実施状況報告（8 月末）

		平成28年度	平成29年度
会員数（人）	男	1,242	1,314
	女	384	410
	合計	1,626	1,724
就業実人員（人）		1,283	1,324
就 業 率（%）		78.9%	76.8%
受注件数	公共	28	30
	民間	1,761	1,906
契約金額（千円）		293,096	304,287

就業日報の提出について

◎就業日報は、毎月の最終就業後、速やかに事務局へ提出してください。提出の際は、会員氏名、就業先名の記入漏れ、計算違いを確認しましょう。なお、継続就業中であっても、季節によって当月中に一度も就業がない場合は、お手数ですが、事務局へご連絡下さい。※パレット柏（柏駅東口徒歩3分）でも受付していますが時間は平日13時～16時に限られていますのでご注意ください。

《 注 意 》

平成29年4月から就業している会員で、健康診断書（平成29年度分）が未提出の方は大至急提出してください。

9 月末日提出率 46.0%

● 新人職員紹介 ●



安西 明さん
（シヨウ コーディネーター）



中村 淳子さん
（事務補助）

配分金支払日

9 月分 10月25日（水）
10月分 11月27日（月）
11月分 12月25日（月）

▼毎月の配分金明細書が必要な方は、事務局窓口へお越しください。

ゆずりはクイズ Part33

- Q 1、Q 柏まつりコンテストで当センターが受賞した賞は？
- Q 2、「シルバーの顔」掲載の吉場さんの趣味は何ですか？
- Q 3、センターの普及啓発活動を地域班で唯一行っている地区はどこですか？

☆ヒント：3面、5面、6面

◎答をハガキに書いて事務局にお送りください。締め切りは **11月24日（金）** です。正解者の中から、抽選で素敵な品を差し上げます。ご応募をお待ちしています。

会員番号と氏名を忘れずに書いてください。

◎ゆずりはクイズ Part32の正解

Q1 の答：秋山弘子

Q2 の答：竹つれづれ

Q3 の答：田中Aチーム

応募数14通、うち正解者数14通でした。

センター緊急連絡先 080-1293-8569

この電話はセンター業務時間外に応答します。連絡は、**緊急なことかどうか**を考えてから電話をしてください。



〈 編集後記 〉

生涯現役という言葉が当たり前のようになり、変わる時代になりました。本号3頁に取り上げましたが、柏市生涯現役促進協議会（当センターは構成団体）は、全国に先駆け毎月就労セミナーを行っています。なかでも、女性向けの就労セミナーに注目の家庭援助的就労への求人が増加、女性の出番となっています。当センター会員のうち女性会員は全体のわずか4分の1。男女機会均等法後30年も経つというのに、当センターに女性の働き手が少ないのは残念な気がしますが、専業主婦が多かった世代でもあり、生き方の選択肢が少なく仕方ないのかもしれない。■男性より長生きするのは女性、健康であれば空いた時間に社会に役立つ仕事を趣味にするという発想の転換もできます。個々の事情は様々ですが今までは違った世界が開けるかもしれない。高齢女性の益々の活躍を祈ります。（Y）